

さて上の「1」のかっこのない式にする方法とはいうと4通りあって、

$+ (+n) \rightarrow +n$	プラス ・ プラス は プラス	
$+ (-n) \rightarrow -n$	プラス ・ マイナス は マイナス	
$- (+n) \rightarrow -n$	マイナス ・ プラス は マイナス	
$- (-n) \rightarrow +n$	マイナス ・ マイナス は プラス	となります。

ところで、このかっこはずしの方法とはいうと、これがかの有名な「ウルトラマンの法則」なのだ。つまり、あのウルトラマンの得意技とはいうと、「スペシウム光線」なのだが、それは右手(-)と左手(-)の組み合わせによりつくられるのだ。

そこで、このかっこはずしの法則とはいうと、結果的に、手を何回出すのかということ調べればよいということになります。

つまり、ウルトラマンが、右手(-)と左手(-)を出したときにはじめてスペシウム光線(+)が発射されるのです。

$+ + \rightarrow -$		$-$		ときてスペシウム光線発射	$+$
		ピ	ピ		ピ
$+ - \rightarrow -$		$-$		ときてスペシウム光線は出ないぞ	$-$
		ピ	ピ		ピ
$- + \rightarrow -$		$-$		ときてスペシウム光線は出ないぞ	$-$
		ピ	ピ		ピ
$- - \rightarrow -$		$-$		ときてスペシウム光線発射	$+$
		ピ	ピ		ピ

となるのです。しっかり覚えてね!

またこれは、別の見方をすれば、

-が偶数ならば+ -が奇数ならば-
というように考えることもできます。

Copyright(C)Prince Kochan's Production.

加法と減法の混じった式の計算は、まとめると次の2点になります。

1. かっこと符号のついた式は、すべて、かっこのない式にすることができる。

1のことは言い換えると、「かっこのつかないより単純な式にすることができる。」
ということである。

2. かっこのない式は、項という考えによって、すべて加法であると考えて計算することができる。

2のことは
これまでの
「+ (たす)」「- (ひく)」
という計算の記号は、
「+ (プラス)」「- (マイナス)」
という符号と同じにみることができる。
したがって、以後は読み方を
「プラス」「マイナス」
として、項という考え方で計算すれば
よい。ということである。